





# 施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	総務課	
				課長	桑原 孝治	
施策	8	生活安全対策の推進	関係課	観光商工課 商工振興係		  

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名		対象	意図
				基本事業名	対象		
町民	町民	犯罪被害、交通事故にあわない、起こさない。	基本事業	1	交通安全・防犯意識の高揚	町民	交通安全と防犯に対する意識を高める。
				2	交通安全・防犯設備の充実	町民	交通事故や犯罪被害にあわない。
				3	消費者保護対策の推進	町民	消費者被害にあわない。
				4			

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や幼児、児童や生徒、歩行者や運転者など、町民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図ります。</li> <li>・道路区画線、ガードレールやカーブミラーなどの交通安全設備の整備を図り、危険箇所の解消に努めます。</li> <li>・防犯意識の高揚と、防犯灯・防犯カメラなど防犯設備の整備を図ります。</li> <li>・消費生活センターと連携し、相談しやすい体制をつくり、広報等を通じて消費に関する正しい知識の普及や被害を防止するため意識啓発を図ります。</li> </ul>
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	交通人身事故発生件数	件	実績値	73	73	70
			目標値		70	67	64	61	58	55
B	刑法犯認知件数	件	実績値	86	75	64	78	50	57	
			目標値		84	81	79	76	73	70
C	過去1年間に、消費者被害を受けた町民の割合	%	実績値	8.4	7.1	9.5	6.6	7.8	6.8	
			目標値		8.1	7.8	7.5	7.2	6.9	6.6
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 交通人身事故統計年報により実数を把握 ※1月～12月の数値</p> <p>B) 刑法認知件数が増えると、身近で犯罪にあう町民が増加すると考えたため成果指標とした。 群馬県防犯推進レポートにより実数を把握</p> <p>C) 直接的な設問であり、数値が減少すれば消費者被害にあっていないといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。→「はい」と回答した人の割合</p>
-------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

目標値設定の考え方	<p>A) 交通人身事故発生件数(町内)は、本町の人口が毎年2%減少していることも勘案し、成り行きでは毎年2件減少すると考える。目標として毎年3件の減少を目指す。【交通人身事故第一当事者市町村別居住状況(人口10万人あたり(2016))沼田市:404人、片品村:281人、川場村:304人、昭和村:399人、みなかみ町:423人】</p> <p>B) 刑法認知件数は、人口が毎年2%減少すると予測されるため、成り行きでは毎年2件減少する。目標では毎年3件ずつ減少させることとする。【(刑法認知件数(2016))県:14,006件、利根沼田管内:386件、みなかみ町86件】</p> <p>C) 平成29年度アンケート結果では、「過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。」が8.4%となっている。消費者被害が減少すればだまされることも減少すると考え、2022年度には約2%削減の6.6%を目指す。</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策のための目的・役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全を意識し、交通事故をおこさないようにする。</li> <li>・歩行者、運転手ともに交通ルールを遵守する。</li> <li>・地域ぐるみで防犯意識を高め、犯罪にあわないようにする。</li> <li>・自衛意識(防犯グッズ所持、戸締まり、危険な場所へは行かない等)を持って行動する。</li> <li>・悪質商法など、消費に関する知識を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、交通安全設備の整備を図る。</li> <li>・交通事故の防止を図るため、交通安全の啓発活動を推進する。</li> <li>・信号や停止線、横断歩道など公安委員会への要望事項について、現状及び必要性を具体的に伝える。</li> <li>・地域の防犯活動を支援し、防犯意識を高める。</li> <li>・警察等の関係機関と連携し、非行や犯罪の未然防止に努める。</li> <li>・消費者自身の知識向上と相談機能を充実させ、消費者の保護を図る。</li> </ul>

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者ドライバーの事故が多く、運転免許証の自主返納しやすい環境作りが求められてくる。</li> <li>・振り込め詐欺や悪質商法、ネット関連、架空請求などの特殊詐欺犯罪は、ますます巧妙になり被害額が大きくなる傾向にある。</li> <li>・空き巣や自動車盗難は減少傾向にあるが、ここ数年増加傾向にある。</li> <li>・ストーカー・配偶者からの暴力事案は件数こそ減っているものの、重大な結果につながることもあり、また、児童虐待事案は増加する傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路区画線の引き直し、ガードレールやカーブミラーの設置や修繕など、交通安全対策を進めてほしい。</li> <li>・通学路の安全対策を進めてほしい。</li> <li>・運転免許自主返納に伴い、運転経歴証明書発行手数料の助成やバスカードなどの助成を求める意見がある。</li> <li>・防犯カメラの設置を推進してほしい。</li> </ul>

施策	8	生活安全対策の推進	主管課	名称	総務課
				課長	桑原 孝治

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因	
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。	<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	① 交通人身事故件数は、令和2年の40件から35件となり5件減少した。 ② 刑法犯の認知件数は、令和2年の50件から57件となり7件増加した。 ③ 1年間の間に消費者被害を受けた町民の割合は、全年齢で令和2年度の7.8%から6.8%に減少した。年代別では、30代が最も多く13.0%、次に40代で10.9%、それに続く50代は10.7%であった。
		<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。		① 交通事故件数は、沼田警察署管内で令和2年の204件から223件となり19件増加している。沼田市は138件から165件となり27件増加、片品村は4件から7件となり3件増加、川場村は9件から4件となり5件減少、昭和村は13件から12件となり1件減少、みなかみ町は40件から35件となり5件減少となった。 負傷者数は、沼田警察署管内で276人から302人となり26人増加している。沼田市は182人から227人となり45人増加、片品村は6人から8人となり2人増加、川場村は12人が7人となり5人減少、昭和村は、14人が13人となり1人減少、みなかみ町は、62人から47人となり15人の減少となった。 ② 刑法犯の認知件数は、沼田警察署管内で令和2年の246件から236件となり10件減少している。沼田市は168件から147件となり21件減少、片品村は18件から11件となり7件減少、川場村は4件から11件となり7件増加、昭和村は6件から10件となり4件増加、みなかみ町は50件から57件となり7件増加となった。 人口1,000人あたりにすると、群馬県内で、沼田市は3.1件で19位、片品村は2.6件で25位、川場村は3.4件で16位、昭和村1.4件で31位、みなかみ町は3.1件で20位となった。利根沼田管内では昨年度と同じ、犯罪発生状況の低い方から3位となった。 ③ 令和3年度の沼田市消費生活センターへの相談件数は、令和2年度の351件から333件となり18件減少している。沼田市は244件から240件となり4件減少、片品村は10件から13件となり3件増加、川場村は12件から7件となり5件減少、昭和村は22件から22件で増減なし、みなかみ町は63件から51件となり12件の減少となった。
	<input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。	① 交通事故発生件数は、目標値58件に対して35件と23件下回り、目標値を大きく上回った。コロナウイルス感染症による自粛により県内外からの交通量が減少したことが主な要因と思われる。また、自動車の事故防止装置等の安全性能の向上などの要因も考えられる。 ② 刑法犯認知件数は、目標値73件に対して57件と16件下回り、目標を大きく上回った。県内全体の刑法犯も毎年減少しているが、悪質なケースが目立っているという。 ③ 過去1年間に消費者被害を受けた町民の割合については、目標値6.9%に対して6.8%と0.1ポイント減少したが、ほぼ目標値どおりとなった。		
<input type="checkbox"/> かなり低い水準である。				
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。			

	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
					1	交通安全・防犯意識の高揚	A 交通事故による人的被害者数(死者/傷者)	人	実績値	1/101	1/96
				目標値		0/100	0/95	0/90	0/85	0/80	0/76
		B 身近で犯罪にあう不安を感じている町民の割合	%	実績値	33.1	36	41.7	40.6	38.3	36.8	
				目標値		30.0	29.0	28.0	27.0	26.0	25.0
2	交通安全・防犯設備の充実	A 過去1年間に、道路で危ないと感じた町民の割合	%	実績値	49.1	51.4	53.2	53.2	50.8	56.1	
				目標値		49.0	49.0	48.0	47.0	46.0	45.0
		B 市町村別人口1000人当たりの犯罪発生状況県内順位	位	実績値	21	23	24	19	24	20	
				目標値		21	21	21	21	21	20
3	消費者保護対策の推進	A 消費者被害相談件数	件	実績値	41	51	58	75	63	51	
				目標値		42	43	44	45	46	47
		B		実績値							
				目標値							
4		A		実績値							
				目標値							
		B		実績値							
				目標値							

	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
		1	交通安全・防犯意識の高揚
2	交通安全・防犯設備の充実	① カーブミラーやガードレールの老朽化による劣化があり、それらを改修する必要がある。また、交通安全施設として必要な場所の確認を行い設置をしなければならない。 ② 夜間歩行者が通行する道路の点検(暗い箇所)の把握、女性や高齢者・子どもなどにとって、防犯上危険な場所の確認を行い、防犯設備を整備する必要がある。	① 各行政区や関係機関から要望・情報提供のあった交通危険箇所や老朽化した安全施設について、計画的な整備を進める。緊急性がある場合必要に応じ早急に対処する。 ② 犯罪行為の抑止力として、大きな役割を果たすのが防犯カメラであるため、警察や行政区、関係機関と連携し計画的に設置を行う。
3	消費者保護対策の推進	高齢者や若者をターゲットにした詐欺犯罪や詐欺まがいの行為が増加している。また、送りつけ商法や巧妙な詐欺行為が後を絶たない。	詐欺商法の情報やクーリングオフ等契約トラブルの対処の相談ができる、消費生活センターについて広報等で広く町民に周知する。また、相談内容に応じた対応を検討する。高齢者を対象にした特殊詐欺等防止機能付電話機の導入を促進する。
4			

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	交通指導隊運営事業				① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	4,772,000 円		
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進				四季ごとの交通安全運動や、町内で行われるイベント等において交通安全指導を行い、もって交通秩序の確立及び交通事故の防止に努める。				新型コロナウイルスの影響により出勤機会が激減したため、取り組みはなかった。				事業実績		
	基本事業	01	交通安全・防犯意識の高揚												② 事務事業の課題		
組織名		総務 課		消防・防災 係		小・中学校の交通安全教室などは別として、各種イベントの交通整理をすべて交通指導員に出勤してもらうのではなく、費用や話し合いがつけば、民間の警備会社に一部委託を検討。				小中学校の統廃合などにより、出勤機会の現象が見込まれるため、現状の定員が適切かどうか検討していく。				令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	2 項	1 目									12	20・72	43・96	時間・回

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	交通安全意識啓発事業				① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	883,658 円		
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進				四季の交通安全運動などを通じ、交通安全に対する意識啓発を行う。				なし				事業実績		
	基本事業	01	交通安全・防犯意識の高揚												② 事務事業の課題		
組織名		総務 課		消防・防災 係		課題なし				なし				令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	2 項	1 目									12	36	36	回

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	交通安全対策施設維持管理事業				① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	5,268,384 円		
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進				交通安全施設について、各行政区からの要望や道路状況等を勘案し、必要に応じて整備を行う。				区画線1488m、ガードレール29m、カーミラー12基、ポストコーン10本を整備。				事業実績		
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実												② 事務事業の課題		
組織名		総務 課		消防・防災 係		予算執行に際し、地域整備課や群馬県警沼田警察署と協議し、より効果的に交通安全施設の整備を行う必要がある。				主に行政区長からの要望書により、必要と思われる物は順番に整備しているが、交付金の対象にならないグリーンベルト、区間の長い区画線やガードレールなど、予算規模から道路改修時ではないと要望に応えられない物も多い。				令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	2 項	1 目									12	60	69	%

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	利根沼田交通安全センター運営費負担事業				① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	61,000 円		
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進				交通センター管理費負担金の支払い事務。センターへの負担金を支払うことにより、運転免許更新者及び交通安全教育を実施、交通事故を未然に防ぐ交通環境の醸成に役立っている。				なし				事業実績		
	基本事業	01	交通安全・防犯意識の高揚												② 事務事業の課題		
組織名		総務 課		消防・防災 係		課題なし				なし				令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	2 項	1 目									12	40	35	件

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	防犯意識啓発事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	124,700 円				
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進		群馬県沼田警察署等からの防犯チラシ等を各世帯へ回覧のするための事務。 また、必要に応じて、防犯啓発品を購入し配布する。	特殊詐欺等防止機能付き電話機等購入費補助金制度を啓発し高齢者の被害防止に努めた。	事業実績					
	基本事業	01	交通安全・防犯意識の高揚				緊急メール配信回数					
組織名			総務	課	消防・防災	係	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1	款	2	項	1	目	13	令和 2年度	令和 3年度	単位
										3	0	回

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	防犯灯設置費補助事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	604,000 円				
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進		・行政区等が設置する防犯灯の設置費の補助(新規は上限4万円、更新は2万円)	新設4万円、更新2万円を補助することで、新設11件16箇所、更新2件2箇所の申請があった。件数および箇所数が若干減少した。	事業実績					
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実				申請数					
組織名			総務	課	消防・防災	係	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1	款	2	項	1	目	13	令和 2年度	令和 3年度	単位
										14	13	件

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	防犯協会運営事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	152,138 円				
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進		犯罪のない明るい町づくりをめざし、防犯活動を推進するための組織である防犯協会の会議等を開催する。	なし	事業実績					
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実				会議等開催件数					
組織名			総務	課	消防・防災	係	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1	款	2	項	1	目	13	令和 2年度	令和 3年度	単位
										0	0	回

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	防犯設備維持管理事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,565,840 円				
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進		町が管理する防犯灯の電気料金の支払と照明器具交換等の修繕を行うことによって、町民の安全・安心を推進する。	なし	事業実績					
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実				修繕箇所数・設置箇所数					
組織名			総務	課	消防・防災	係	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1	款	2	項	1	目	13	令和 2年度	令和 3年度	単位
										4・374	9・383	箇所

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	駐在所用地管理事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	234,181 円			
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進			月夜野駐在所、須川駐在所用地を土地所有者から町が借り受け、沼田警察署に貸し付けている。	なし	事業実績				
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実					貸付面積(月夜野・須川)				
組織名		総務 課		消防・防災 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	2	項	1	目	13	375・503	375・503	m <sup>2</sup>
課題なし						総合戦略課へ移管						

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000006	防犯設備整備事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	756,800 円			
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進			防犯カメラ等、防犯設備の整備を行う。	防災駐車場付近に防犯灯付き防犯カメラを2箇所、防犯灯を6箇所設置した。	事業実績				
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実					整備数(累計設置数)				
組織名		総務 課		消防・防災 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	2	項	1	目	13	6(42)	2(44)	箇所
要望に基づき設置に対応しているが、効果的な設置場所の検討が必要となる。						各行政区の要望や警察の意見も取り入れ、優先順位をつけて整備を行う。						

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	防犯対策費負担事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	497,141 円			
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進			賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて町の防犯対策の推進を図る。H29年度より事務事業を1本化した。	なし	事業実績				
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実					負担金等支払い件数				
組織名		総務 課		消防・防災 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	2	項	1	目	13	4	4	件
課題なし						なし						

令和 4 年 7 月 29 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	消費生活センター運営費負担事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,931,579 円			
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進			沼田市消費生活センターに業務委託。契約や取引に関する消費者トラブルで困ったときの相談窓口を開設している。	消費生活センターニュースの配布等による広報活動を行ったが、以前に比べ相談件数が減少した。	事業実績				
	基本事業	03	消費者保護対策の推進					沼田市消費生活センター相談件数(みなかみ町分)				
組織名		観光商工 課		商工振興 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	7	項	1	目	1	63	51	件
消費生活センターの認知度の向上。						相談数が減少した結果が、消費者知識普及事業による成果なのかあるいは別の要因なのか不明なため、その理由を明確化するのが今後の課題の1つである。						

令和 4 年 7 月 29 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		消費に関する知識普及事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	67,980 円	
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進			消費生活を送るうえで、身の回りに潜む危険に関する知識を蓄え、備えるために、消費に関する正しい知識を広く周知し、個人の意識啓発と消費生活の安定を図る。			県や消費生活センターと連携した啓発活動及び高齢者向け啓発パンフレットの作成・配布を行い、消費者の知識の蓄積を図った。			事業実績			
	基本事業	03	消費者保護対策の推進									② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策
組織名		観光商工 課		商工振興 係			広報掲載、啓発チラシ回覧等による知識の蓄積。			引き続き、県事業及び消費生活センターと連携し、消費トラブルに関する啓発活動を行う。			令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	7							項	1	目